

5-3 検討結果

1994 年の渴水年における地下水位低下量の解析結果をもとに、地下水位の低下状況をモデル化して水分量の経時的な変化を検討した。

水分量の変化は、地下水位の低下期間が異なる深度別に整理するものとし、ここでは、第 1 帯水層に相当する地層を想定して検討した。

図 5-5 に現地採取砂質土の、図 5-6 に現地採取粘性土 1 及び 2 の検討結果を示した。

地下水位が GL - 1.0m ~ GL - 4.0m まで下がる場合を設定し、水分量の変化は GL - 1.0m ~ GL - 3.0m まで 1m きざみで示している。

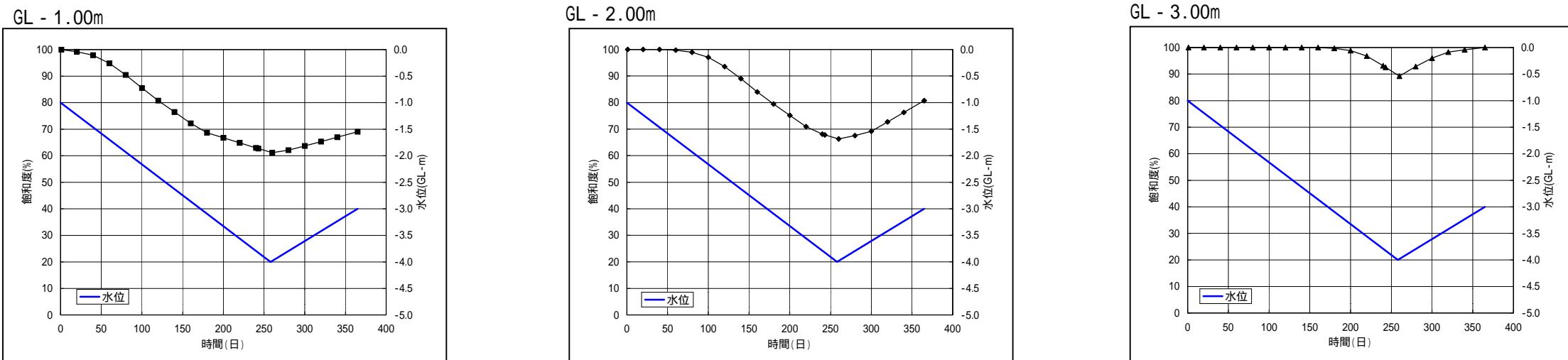


図 5-5 現地採取砂質土 (N02 地点) の飽和度変化

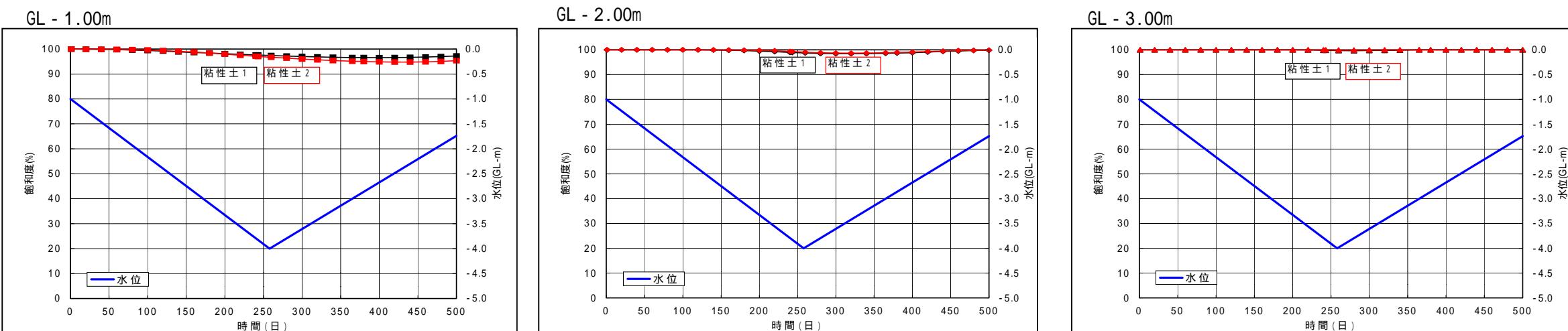


図 5-6 現地採取粘性土 (N011-10 地点) の飽和度変化